



桐

K

I

R

I

目黒学院高等学校同窓会事務局

〒153-8631 東京都目黒区中目黒1-1-50

電話 03-3711-6556

編集発行人 会長 北村 徳章

URL <http://www.meguro.ac.jp/Kiri/>



平成25年度会務報告



同窓会会長

北村 徳章

(平成2年 3月卒)

同窓会会員の皆様方におかれましては、益々ご健勝で
ご活躍のこととご拝察致します。

また、常日頃から同窓会に対しまして、様々なご支援、
ご鞭撻をいただき、厚く御礼申し上げます。

先ずは本誌を通して、一年間の経過報告等をさせてい
ただきます。

母校の行事につきましては、例年同様、卒業式・楳林

祭に同窓会から代表が出席し、祝意と激励を行ってまい
りました。

卒業式後にはPTA主催の「謝恩会」にも参加させて
いただき、保護者の皆様方と喜びを共にさせていただきました。

本会の会員数も去る3月9日の第66回卒業証書授与式を
似て、新たに282名の新会員を迎え、会員総数では
30,783名となりました。

このうち本年の親子二代に亘る卒業生は4組8名（8頁
記載）でありました。

本年卒業生は、2011年3月11日の東日本大震災という
未曾有の災害を経験して入学してまいりました。

また、男女共学となった年でもあり、多感な時期の高
校生としては、子供から大人へ、また個人と社会との絆
を深く感じながら送ってきた高校生活ではなかったかと思
います。

本年3月には、女子生徒として初の卒業式でもあり目黒
学院高校としての歴史に大きな1ページを刻んだのではな

いでしょうか。

御卒業の皆様、誠におめでとうございます。

また、昨年は22年振りとなるラグビー全国大会、花園出場も忘れることは出来ません。

過去にラグビーといえば目黒と言われた栄光の時代も、長いトンネルへと入り、22年という時間を経て、花園出場を決めました。

これも生徒の努力は言うに及びませんが、監督やコーチ、そして周りの皆様方の協力により生み出された結果だと思えます。

今年も昨年同様の活躍を、同窓会としても力強く応援していきたいと考えております。

誠に、おめでとうございます。

他にも2014年には様々なことがありました。

テレビや映画では、『半沢直樹』や『風立ちぬ（宮崎駿監督）』がヒットし、長寿番組の『笑っていいとも』が約32年間の放送に幕を下ろしました。

経済的には、永らく続いたデフレ不況を脱却するため、政府・日銀が2%のインフレ目標の設定や、環太平洋経済連携協定（TPP）への交渉参加を正式に表明など、話題になっていました。

明るい話題としては、『和食』のユネスコの無形文化遺産登録や、1964年以来56年振りの東京オリンピックが2020年に決定などがありました。

若い世代の情報ツールであるSNSとしてLINEが登録者数3億人突破などと言う話題もあり、携帯電話の活用方法も多様化されている状況も、時代の変貌を感じさせられる出来事であったと思います。

また、例年ご協力をいただいております同窓会賛助会費の納入につきましては、本年も多数の会員からのご賛同と深いご理解をいただき、平成25年度は7頁にご芳名記載のとおり155名の方々から納入を頂きました。

平成25年は24年と比較すると納入者数は37名減となりましたが、新規納入を頂いた方々は25名おりました。

ここに謹んで御礼を申し上げます。

この賛助会費は、同窓会運営にとどまらず、生徒の奨学金や、同好会・クラブ活動、梧林祭開催のお祝い金などにも活用させていただいており、皆様方の心温まるお気持ちに大変感謝しております。

既に本誌にてたびたびご案内させていただいておりますが、一口1,000円で全会員を対象にご協力をお願いしております。

本年も、本誌発送とともに全ての会員に、賛助会費（同窓生年会費）の払込通知票を同封させていただきましたので、会員諸兄のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

また、口数は任意ですので、お志のある方は、是非と

も複数口のご協力を重ねてお願い申し上げます。

今後、クラス会や同期会開催等のため、本会宛てに会員情報の提供を希望される場合は、①使用目的、②提供希望の情報項目、③申し出者の本人確認が出来る書類（運転免許証・保険証等の写し）を添えてお申し出いただくこととなります。

本会ではこれまで同様、会員情報の管理については細心の注意を払ってまいりますので、ご了承ください。

また、今回の同窓会会報『桐』の発行が遅れましたこと、誠に申し訳ございませんでした。

おわりに、今後もお一層、同窓会に対するご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。会員諸兄、母校在校生並びに教職員の皆様方の益々のご健康とご発展をお祈り申し上げて、会務報告とご挨拶といたします。



優和
Design

優しさと和をもち
大切な建物を守る

優和デザイン

北村 徳章（平成2年卒）

∞∞ 目黒学院卒業生の皆様 ∞∞

建物の改修工事など

お気軽にご相談下さい。

〒115-0045

東京都北区赤羽1-66-10 シティ赤羽602

TEL 03-6802-6536

e-mail : yw-design@ksh.biglobe.ne.jp

ご挨拶と学校の動向



理事長・校長

関 口 隆 司

平成25年度は、女子生徒を受け入れて3年目となり、中学・高校のすべての学年に女子生徒が在籍するようになりましたが、おかげさまで大過なくほぼすべての行事をとり行うことができました。本年も高等学校の生徒会長には女子が就任し、各委員会の活動も以前より活発に行われております。生徒総会では生徒が自主的に決定したルールに基づき、携帯電話の所持を認めて欲しい（使用は禁止）との意見が出され、昨年11月より試行期間に入っております。中学校の生徒会も男子と女子が仲良く活動する様子はとても微笑ましく、男女共学のメリットの一つであると思います。今後も「明朗・勤勉・礼節」の校訓のもと、生徒の個性を良い方向に導くための教育内容の充実に邁進する所存です。

本年4月の新入生は、中学生7名、高校生301名（一貫コース内部進学生を含む）となりました。そのうち女子は中学生1名、高校生特進コース65名となっております。何卒、卒業生の皆様におかれましては、引き続き「新生・目黒学院」へのご支援とご協力を賜りたいと念願しております。

以下簡単ですが学園概況のご報告を申し上げます。

1. 学校行事等

前述の通り、平成25年度の目黒学院では、中高一貫コースにおける教育講演会を除いては、すべての行事を予定通り実施することができました。梧林祭も初日は天候に恵まれませんでした。昨年同様生徒は活発に活動しておりました。10年連続の参加となる中目黒駅前商店街主催の「鳴子よさこい祭り」には、高校3年生女子5名と高校1年生男子6名が参加し、前回以上の好評を博しました。また昨年度に引き続き、相互交流の協定を締結している福島県飯舘村に対して義援金を手交いたしました。

2. 教職員の異動

事務長の佐藤公俊先生が定年退職されましたが、佐藤先生は引き続き法人事務局長に就任されております。また、常勤講師の澤村麻里奈先生（国語）、中島真由美先生（英語）、理科実験助手の栗須亮先生が退職されました。一方、富永実与先生（理科）、村松奈津子先生（理科）、佐々木智之先生（保健体育）、西海将先生（数学）、森田由憲先生（国語）を専任教諭としてお迎えし、田嶋健作先生（国語）、日下虎太郎先生（数学）、前田洋平先生（英語）、

坂元修平先生（情報）を常勤講師として、大鶴陽郎先生を理科実験助手としてお迎えしました。

現在の専任教員数は70名（専任講師・常勤講師を含む）、専任職員数は13名（カウンセラー2名を含む）となっております。

3. 部活動の状況

関東大会以上に出場したのは、ラグビーフットボール部、空手道部、ゴルフ部でした。ご承知の通りラグビー部は、22年振りに全国大会に出場し、ベスト16となりました。多くの同窓生の皆様から多大なる応援、また寄付金を賜りましたこと、あらためて厚く御礼を申し上げます。今年に入り新人戦では成城学園高校と同点、抽選負けとなり、春季大会は決勝に進出したものの國學院久我山高校に逆転で敗れ、準優勝となりました。前半は21点のリードがあっただけに悔やまれる結果ですが、秋の全国大会予選は東京第二地区の第1シード校となります。一方、空手道部は全国空手道選手権大会及び桃太郎杯全国空手道錬成大会に出場、ゴルフ部は関東高等学校ゴルフ選手権（夏季、冬季）に出場しました。

4. 大学進学状況

本校のホームページに本年度の大学進学実績を掲載しております。初めて女子が受験に向かったため、進路も以前に比べて多様化したしました。しかし生徒の大半が大学進学希望であることは変わらず、志望進路実現ために教職員一同なお一層真剣に取り組んでいく所存です。勉学であれスポーツであれ、真摯にかつ夢中で取り組み、自分自身の考え方にこだわりを持った「有言実行」の生徒を今後も育てていきたいと考えております。

5. その他

平成25年度は、経済的に就学が困難な生徒の保護者に対して学費を免除する規定に基づき、6名に対して授業料の全額免除を行いました。規程に基づき授業料を免除した場合には、同窓会からその一部をご援助いただく予定であります。

昨年に引き続き、本年3月にトンガからの生徒を1名受け入れております。現在トンガ人の生徒は合計5名で、高校3年生が2名、高校2年生、1年生、中学3年生が各1名となっております。高校3名は全員体育コースに進学し、ラグビーフットボール部に所属しております。3年生のタフ・テビタ君とモエアキオラ・アタアタ君は、2年生当時に高校日本代表選手に選出されました。前述の通り、春季大会では國學院久我山高校に惜敗しましたが、秋には東京第二地区の代表として2年連続で全国大会に出場して欲しいと切に祈っているところであります。

会員紹介

目黒高校の思い出と卒業後の私



武田 敬

(昭和43年 3月卒)

神奈川県の公立高校を落ちて、目黒高校に入った私は挫折感から無気力な高校生活を初めの半年間送っていました。前期の「生物」のテストで最悪の点（確か12点）を取って、父に怒られました。父に成績で叱られたのは生涯でこの時だけです。他の科目も惨憺たるものでした。なにしろ試験勉強などまったくせず、テストに臨んだのですから。この時、私は将来身を立てていくには勉強するしかない（少なくとも小学校時代は優等生だったのだから。）と決心しました。それで、次のテストからはクラスの3~4番目が私の定位置になりました。1番は同窓会長を務めた安達君です。大学へ行くという目標ができた私は、担任の吉村先生や永尾先生に励まされ、そして友達にも恵まれ、楽しい高校生時代を過ごしました。

卒業後2年浪人して、武蔵大学経済学部に入りました。就職先には、ゼミの先生には銀行を勧められましたが、商社を希望した私に先生は「そごう」に推薦状を書いていただき、私は入社することができました。勤務地、神戸で主に鞆の販売に従事して4年を過ごし、工業団地に移転する事になった、金属屑商を経営する父の後を継ぐ為に私は神奈川県に戻ってきました。目黒高校を卒業してちょうど10年が経過していました。

入社後2年目にそれまでの事業に加えて、私は産業廃棄物処理業を立ち上げました。さらに、7年後私はアメリカのバッファローにある当時米国第3位（世界でも3位）のシーコスという会社に視察に行きました。同行したのは廃油、廃液の処理事情に詳しい産業廃棄物処理会社の営業マンと化学が専門の電気部品製造会社研究所の研究者でした。シーコスにはアポイントメント無しで訪問したので、門前払いされるかなと不安でしたが、日本から訪ねてくる人は珍しいらしく、先方も我々に興味を持ったらしく、受け入れてくれました。やがて玄関ロビーに男女二人が現れ、女性が我々に訪問の目的などを質問した後、施設見学の許可を我々に与え、もう一人の男性に指示しました。上司が女性の方だと分かった時には少し驚きました。男性は愛想の良い化学技術者で、我々を彼の個室に招き入れ、処理施設の概要を説明しました。次に車で処理施設を案内してくれたのですが、我々はその広さに圧倒されました。飛行場くらいの面積がありました。廃油等の処理費を聞くと日本の10倍の数字が返ってきた事に驚かされ、分析室には、日本では法律で処理できない物質まであり、処理の多様性にも感心しました。

その後悪戦苦闘の連続でしたが、現在、私の会社は収集運

搬業許可を市内の一般廃棄物と産業廃棄物では神奈川県、東京都、静岡県、茨城県、岐阜県で取得しており、本社のある神奈川県で15種類（内7種類は積替・保管を含む。）の産業廃棄物と6種類（重金属類や有害物質を含む。）の特別管理産業廃棄物の許可を取得しております。また近年、解体工事業の登録を神奈川県、東京都、静岡県で取得しました。これにより、事業所の設備や機械を解体・搬出・運搬・処理を一貫してできる事をお客様に提案しています。ぜひ、「武田商事 綾瀬」で検索してみてください。

私の人生



小林 隆

(昭和44年 3月卒)

私の正面を2台並んで乗用車が、スローモーションで迫ってくる。`自分が飛ばされる！、と一瞬、脳裏に浮かんだ。ほんの何秒だったか、目の前が真っ暗に。私の乗っていたバイクは乗用車に踏みつけられて大破。気がついた時は足の打撲だけ。九死に一生を得ました。目黒高校を卒業して、衣服関係の仕事に住み込みで働いていた22歳の時の交通事故でした。

その後、転職。13年間勤めましたが倒産。自分で靴の小売をしながら、一般新聞の配達もやりました。無理が祟って、椎間板ヘルニアになり入院。重症との診断でしたが、20日間で完治。47歳の時でした。

現在の菓子販売の会社に入ってから、胃潰瘍による吐血。そして、5年前には肺癌の宣告を受けましたが、半年で完治。これまでの人生、振り返ってみると、いろいろありました。家族にも心配をかけ、会社の方や地域の方々に助けて頂いたことに、深く感謝しております。

今年で64歳になりました。あと1年で退社です。現在の会社へは、高校通学時と同じ路線で通勤しています。初々しい目黒学院の生徒と毎日会います。「元気かな」といつも気になります。

先日、ブラスバンド部の先輩方の同窓会に出席させて頂きました。卒業後、初めてお会いする先輩も、分け隔てなくいろいろな人生経験を聞かせて頂き、楽しいひと時を過ごせました。同期の友と時々会いますが、これからも友情を深めていければと思います。

現在、一人息子が昨年就職し、妻と3人で暮らしています。地元（品川区西大井）で生まれ育ったので、地域の活動には積極的に参加しています。体が動く限り、地域、そして、同窓会の役員として、母校のために活動していければと願っています。

これからも、どんなことがあっても、前へ前へと心を強くして、生き抜いていきたいと願っています。

ラグビーフットボール部

22年ぶり花園出場によせて



監督
堀内 孝彦



コーチ
竹内 圭介



コーチ
倉上 俊

平成25年度、目黒学院高校ラグビー部は22年ぶりに全国大会出場を果たすことが出来ました。過去、全国優勝5回を誇る我が部も長きにわたり東京都予選の壁に阻まれ花園の地

を踏むことができずにいましたが、その間に在籍した選手たちも決して諦めることなく、常に全国優勝を目標に掲げ努力を重ねてきました。残念ながら夢果たせず敗れていった選手たちではありましたが、彼らの思いは後輩たちに確実に受け継がれ、いつでも全国大会に振り返るチーム力であり続けることができました。そこに起爆剤となったのがテビタ・タタフとアタアタ・モエアキオラの二人の留学生です。一年生にしてテビタは高校日本代表、アタアタは東日本代表、そして二年次には揃って高校日本代表に選出された逸材です。脈々と受け継がれた部の伝統の上に留学生のパワフルなプレーが加わり、素晴らしい化学反応を起こしたのが平成25年度のチームであったといえます。その結果が東京都予選決勝の歴代最多得失点差となる78-0での勝利と全国大会ベスト16という成績でした。今後はこれに満足することなく、悲願である6度目の全国制覇を成し遂げるべく更に精進していきます。最後になりますが、全国大会出場にあたり同窓会の皆様より多大なるご寄付を頂きましたこと厚く御礼申し上げます。これからも御支援の程よろしくお願い致します。



対札幌山の手



対大阪朝鮮



対札幌山の手



対大阪朝鮮

平成25年度決算報告書

平成25年4月1日から
平成26年3月31日まで

平成26年度予算書

平成26年4月1日から
平成27年3月31日まで

(収入の部) (単位:円)

科 目	予算額	決算額	摘 要
同窓会費	2,981,400	2,981,400	828名分
入会金	714,000	714,000	357名分
賛助会費	600,000	452,100	156名分
総会費	0	0	
寄付金	0	0	
雑収入	43,000	43,086	会報掲載広告代及び預金利息
当期収入合計	4,338,400	4,190,586	
前年度繰越金	3,122,109	3,122,109	
収入合計	7,460,509	7,312,695	

(収入の部) (単位:円)

科 目	予算額	前年度予算額	増 減
同窓会費	2,946,300	2,981,400	-35,100
入会金	462,000	714,000	-252,000
賛助会費	500,000	600,000	-100,000
総会費	0	0	0
寄付金	0	0	0
雑収入	45,000	43,000	2,000
当期収入合計	3,953,300	4,338,400	-385,100
前年度繰越金	4,694,097	3,122,109	1,571,988
収入合計	8,647,397	7,460,509	1,186,888

(支出の部)

科 目	予算額	決算額	摘 要
総会費	0	50	
行事費	0	0	
通信費	0	50	
雑費	0	0	
会議費	139,000	13,811	
役員会費	133,000	13,811	出席者食事代
委員会費	0	0	
通信費	6,000	0	
補助費	380,000	330,000	
部・同好会補助	350,000	300,000	在校生部活動補助
文化祭補助	30,000	30,000	梧林祭の祝い金
事務費	371,000	268,997	
人件費	255,000	199,000	役員手当
事務消耗品費	31,000	567	
交際費	60,000	51,970	謝礼・慶弔費
雑費	25,000	17,460	賛助会費振込手数料
会報費	1,777,500	1,605,740	
会報『桐』印刷費	269,000	248,640	14,800部
振込用紙及び印刷費	85,000	75,390	
宛名用紙及び印刷費	85,000	75,390	
封筒・封入作業他	216,000	196,710	
発送費	1,120,000	1,008,770	郵便料
雑費	2,500	840	振込手数料
奨学金	400,000	400,000	3名分
予備費	100,000	0	
当期支出合計	3,167,500	2,618,598	
次年度繰越金	4,293,009	4,694,097	
支出合計	7,460,509	7,312,695	

(支出の部)

科 目	予算額	前年度予算額	増 減
総会費	0	0	0
行事費	0	0	0
通信費	0	0	0
雑費	0	0	0
会議費	139,000	139,000	0
役員会費	133,000	133,000	0
委員会費	0	0	0
通信費	6,000	6,000	0
補助費	380,000	380,000	0
部・同好会補助	350,000	350,000	0
文化祭補助	30,000	30,000	0
事務費	378,000	371,000	7,000
人件費	255,000	255,000	0
事務消耗品費	38,000	31,000	7,000
交際費	60,000	60,000	0
雑費	25,000	25,000	0
会報費	1,922,200	1,777,500	144,700
会報『桐』印刷費	275,400	269,000	6,400
振込用紙及び印刷費	86,400	85,000	1,400
宛名用紙及び印刷費	86,400	85,000	1,400
封筒・封入作業他	243,000	216,000	27,000
発送費	1,230,000	1,120,000	110,000
雑費	1,000	2,500	-1,500
奨学金	400,000	400,000	0
予備費	100,000	100,000	0
当期支出合計	3,319,200	3,167,500	151,700
次年度繰越金	5,328,197	4,293,009	1,035,188
支出合計	8,647,397	7,460,509	1,186,888

[特別積立金] (単位:円)

保 管 種 別	本年度末	前年度末
定期預金	7,000,000	7,000,000

平成25年度決算報告について

平成25年度の決算を行うに当たり、会報「桐」の発行経費について、科目の組み替えを行いました。
具体的には、支出科目の「名簿費」を「会報費」に名称変更し、従来、会報発行経費を総会費(通信費と封筒印刷費)と名簿費(会報印刷費等)に分割計上していたのを、「会報費」に集約して計上しました。
当初予算においては、単年度収支で117万円の収入超過を予定して開始されました。収入は予算に対してやや減少したものの、支出は極力経費の節減に努めたことにより、予算に対して54万円の減少となりました。
この結果、単年度収支で157万円の収入超過となり、次年度への繰越金は469万円となりました。

平成26年度予算について

平成26年度収支予算は、平成26年度の事業計画と平成25年度の収支実績とを勘案して編成しました。

- 収入の部
同窓会費は818名、入会金は231名を収納予定人員と積算し、また賛助会費は近年の減少傾向を勘案して延べ500口を収納予定として予算計上しました。
本年度は、総会・懇親会が開催されないことに伴い、総会費及び寄附金収入については、予算未計上となりました。

- 収入の部
同窓会費、入会金、雑収入は予算どおりの収受となりましたが、賛助会費は予算比で減少しました。
この結果、収入合計では、予算に対して約14万円の減少となりました。
- 支出の部
総会費をはじめとしたほとんどの経常支出科目において節減努力した結果、予算対比で54万円の減少となりました。
なお、在校生に対する奨学金支出は、予算どおりの40万円を執行しました。

〔会計監査報告〕

私たちは、平成25年4月1日から平成26年3月31日までの平成25年度における会計監査を行い、次のとおり報告する。
これ以外の経常的運営費については、次回の総会・懇親会開催に備えて極力抑制した予算を編成しました。
なお、本年度は、総会・懇親会が開催されないことに伴い、総会費については、予算未計上となりました。
この結果、次年度への繰越金は532万円を予定し、単年度収支では63万円の収入超過予算となりました。

平成26年4月26日 会計監査 石渡博己
会計監査 香取芳則

同窓会賛助会費 納入者のご芳名

平成25年度分の賛助会費として、本年3月末までに納入のあった方は、
下記の155名の方々です。ここに、謹んでご報告申し上げます。

★印は新規納入者

ア 阿妻靖彦	大山翔平	サ 齋藤浩	★田崎達	フ 副島啓太	ヨ★吉岡源訓
秋本康夫	小川直巨	★齋藤豊	但野澄夫	藤兼英夫	
浅野進	小川雄一郎	齋藤泰之	★館山一郎	藤野保	ワ 分野和昭
安達富夫	荻堂盛久	五月女進一	田中伸一	藤平雅司	渡辺詮光
★荒井大輔	奥野和夫	坂井重信	田中廣實	藤森琢磨	
有我洋	小澤幸二	佐藤明朗	田邊有城		
安藤龍	押谷美和	佐藤二郎	丹治誠一	ホ 星野信男	
安藤礼	小野寺正志	佐藤英幸		洞口芳彦	
		狭山正則	チ★土棟健一	堀江和清	
イ 石塚博之	カ 柿ノ迫国夫		ト 東条諭二郎	マ 前嶋喜義	
石渡健二	★柏木幹也	シ 塩原裕之	★豊田幸生	舛巴熙	
石渡博巳	香取芳則	志賀政美		松本淳	
市川清	★神尾拓麻	穴戸隆一	ナ★長友貞治	松本誠治	
市川康憲	河合章雄	穴戸優仁	中林政晴	丸山忠雄	
市川善久	★川上龍一	柴田治男	中村重和		
稲毛慎一	川瀬年茂	★下田和弥	★中森孝幸	ミ★三浦一輝	
稲葉明夫		蕭欣志		三神和夫	
★稲葉孝司	キ 北根益巳	白石郁男	ニ★西川運也	水谷清	
★猪瀬昭男	北村英士		西田尚広		
猪瀬誠	北村徳章	ス 杉本法男	西村俊祐	ム★村木開	
伊福尚登	木村義男	★鈴木寛生	西山賢一	村山栄助	
★岩井宏樹	喜友名朝典	★鈴木茂樹			
岩崎雄太		★鈴木茂之	ネ 根城裕典	モ★森一平	
岩間高志	ク 久我茂三郎	鈴木茂之	ノ 野寺伸一	森江一郎	
	楠本盛仁		ノ 野村元男		
ウ 宇藤雄一	楠本盛信	ソ 外山昇	ハ 長谷川洋一	ヤ 矢内敏郎	
梅沢賢治	楠山信之也	外山知幸	★濱崎弘瑤	矢川福太郎	
	蔵田和也			山縣義明	
エ 江口敦朗	桑原徳郎	タ 高野昌弘		山口邦治	
★江原岳		高橋弘樹		山口敏夫	
遠藤尚之	コ 小岩井晃	高畑哲男	ヒ 土方国任	山崎俊男	
	古賀正勝	高柳進	平井洋	山本明秀	
オ 大河原行雄	小嶋靖夫	滝口勇	平嶋和元	山本大介	
大澤勝	小清水和敏	竹井実	平畑龍芳	山森敦	
大谷一男	小山賢治	竹沢洋行	廣木正和		
★大森勝美		武田敬			

計155名
(内新規納入者25名)

◆タイムカプセル◆

昭和36～38年頃の中目黒付近

渋谷方面から東横線が山手通りの頭上を走り抜けるところ。山手通りは、当時「明治通り」との名称で呼ばれ、2枚の写真に見られるように「トロリーバス」が昭和31年9月から昭和43年まで、品川―池袋間を走行していた。

S38年頃の中目黒駅付近



S36年頃交差点付近



現在の中目黒駅付近



現在の中目黒（駒沢通り）交差点



◆恒例「親子二代卒業生」ご紹介◆

西田 栄 二（父）昭和55年3月卒
海 星（息子）平成26年3月卒

山中 輝 一（父）昭和60年3月卒
一 樹（息子）平成26年3月卒

石垣 潜（父）昭和58年3月卒
森太郎（息子）平成26年3月卒

渡利 憲 一（父）平成 3年3月卒
碧 生（息子）平成26年3月卒

賛助会費の納入をよろしく
お願いいたします！
賛助会費：一口1,000円

◆急募！ 同窓会活動にご協力いただける人材◆

対 象 年齢不問、同窓会の活動に関心のある方。
パソコン、インターネットに興味のある方大歓迎。
連絡先 下記の同窓会のホームページ、「お問い合わせ・ご意見フォーム」からご連絡をお願いいたします。
★同窓会ホームページのアドレス★
<http://www.meguro.ac.jp/Kiri/>